

## 忠直公資料

杉原 丈夫

黒田伝兵衛氏著「忠直卿と鳥羽野」に引用洩れとなつてゐる文献のうち重要なものを二三述べておきたい。

印刷刊行されている資料としては「藩翰譜」及び「徳川実記」がある。後者の承応三年正月十四日の項に小山田多門が米沢で死んだことが記録されているのは続片鱗記の誤りを正すに足りる。

写本では「国事叢記」及び「御家譜」が重要である。前者にはまだ世に紹介されていない忠直伝説があり、後者には忠直の妻妾及び子供の氏名がある。

豊後側の研究書「松平忠直遺蹟」も忘れてはならない。これには豊後へ扈從した臣妾の氏名やその地における生活が記してある。忠直がキリスト教徒であることを述べた「日本切支丹宗門史」等の切支丹文献は恐らく忠直事件の真相を示すものである。その他については「福井県郷土研究書目」を参照されたい。